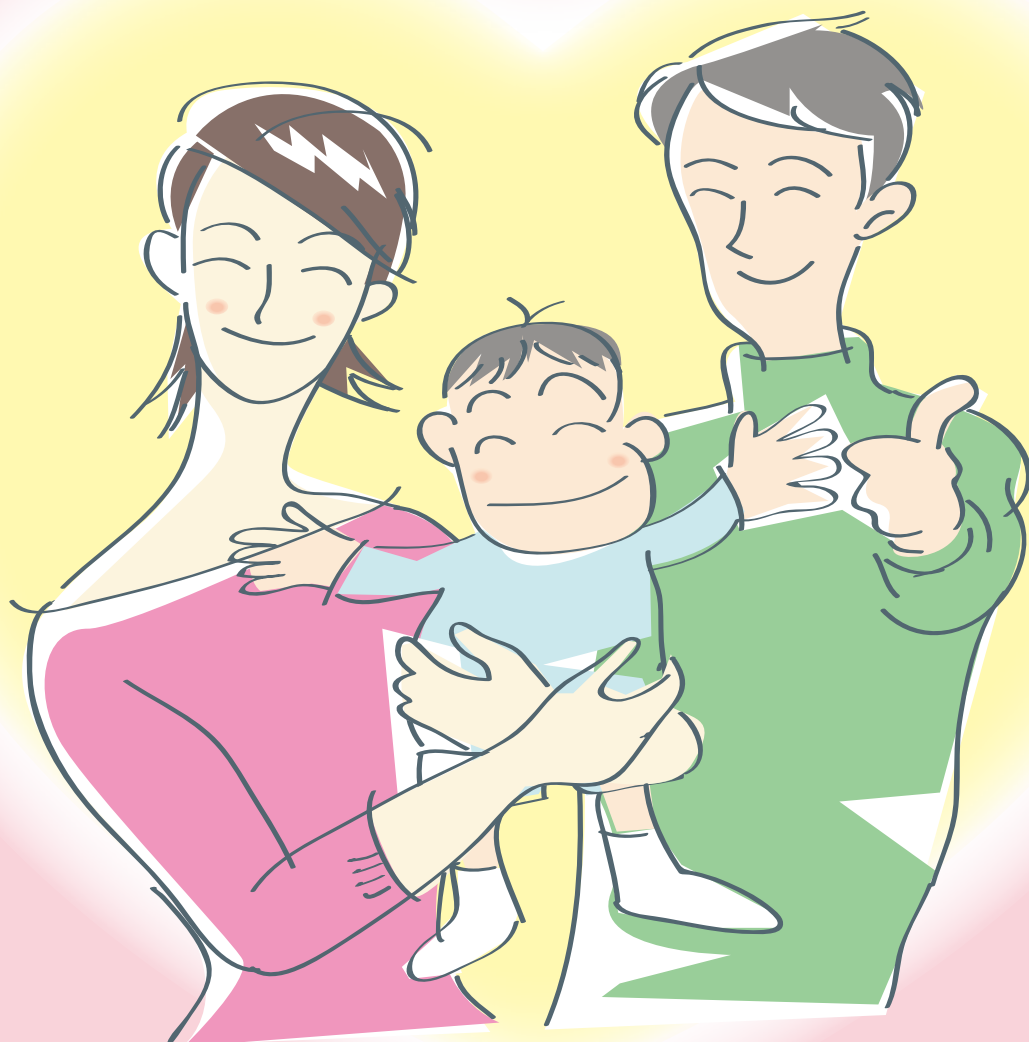


発達障害等の早期発見・早期支援に向けて  
幼稚園・保育所(園)の先生方へ



# 気づきから支援へ

早期からの支援に向けて



平成23年4月  
埼玉県教育委員会



埼玉県のマスコット  
「コバトン」

# よりよく育つためのヒント

## 早期からの適切な支援が大切です

### (1) ～こんな気になる様子はありませんか?～

他のことに気を取られて  
食事や着替えが進まない。

人の嫌がることをしてよくケンカになる。

落ち着いて座ってられない。

いつもと違うことや新しいことがあると  
混乱する。

一人で遊んでいることが多い。

ごっこ遊びや、ルールのある遊びが苦手。



持ち物をよくなくしてしまう。

話を最後まで聞かずに行動してしまう。  
また、人の話に割り込み、自分の話したいことだけを一方的に話す。

かんしゃくやパニックを起こしやすい。

友達になりたいのにうまく関係が作れない。

順番が待てない。

なんでできないのだろう。本当に困った子だ。こう思うことってありますよね?

でも、ちょっと待って!

### (2) 支援のポイント ～こんな工夫をしてみてもは?～

- 着替えなどでは、最後の仕上げの部分を自分でできるように手伝ってあげ、「できた」という達成感を味わえるようにしてみましょう。
- なくしやすいものには、目印をつけましょう。
- 指示を出す前に、「先生のお話がおわって、『ハイ』と言ってからやってみてね。」等の約束を加えてみましょう。
- 大切なことは、文字や絵で表しましょう。
- 気持ちを言葉にして伝えることの大切さを教えましょう。
- 順番を待てずに割り込んだ時などは、「ダメ!」と叱るのではなく、「順番を待とうね。」など、ルールを肯定的に教えると理解しやすくなります。

**「～できない」ところに注目するのではなく、「できる」ところに注目し、成功体験を積み重ねることをとおして本人に自信をもたせることが大切です。**

# 早めの気づきがよりよい支援の第一歩!

## 早期発見・早期支援の大切さ

発達障害等で困りを抱えたお子さんは、集団の中で生活していく上で、少なからず苦手さや困難さを抱えています。就学後には、それに学習上の苦手さ・困難さが加わる場合もあります。これらの課題の中には、本人の努力だけでは軽減や克服が難しいものも多くあります。

周囲の大人が、早くからその子の持っている特性や苦手さ・困難さに気づき、早くから必要な支援をスタートすることが、その子の将来の生活や学習をより豊かに、より快適にしてあげることにつながります。そしてなにより大切な事は、保護者も支えていく、ということです。保護者の不安を取り除くことが、お子さんの安定にもつながります。

## 早期に気づくことの大切さ

### ★早い気づきで早めの支援

当たり前のことですが、早く気づけばそれだけ早く支援の取組をスタートできます。

### ★早めの支援でつまずきを最小限に

発達障害は周囲の理解やかかわり方によって、その状態が大きく変わります。早期からの適切な支援で、その後の学習上や生活上のつまずきを最小限に抑えられます。

逆にかかわり方が適切でないと、学年が上がるにつれて不適応を起こしやすくなったり、自己肯定感が低下してしまったりといった二次的な障害を起こす場合があります。

### ★一人一人の実態に応じて!

幼児期の子どもたちの発達の状態は一人一人違います。家庭環境も、一人っ子や兄弟姉妹がいる子、そしておじいちゃん・おばあちゃんと一緒に暮らしている子と様々です。

はじめての集団での生活。最初はうまく友達とのやりとりができなくても、先生がお手本を見せることで、いつの間にか集団の中で楽しく友達とやりとりができるようになることも多くあります。

一人一人の成長の様子や、家庭環境等を考慮しながら支援を行う事が大切です。

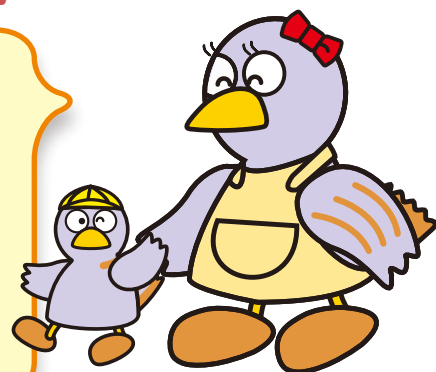
### ★保護者に寄り添いながら…

保育しにくいな、どのようにかかわったらよいのかちょっと不安、というお子さんはいませんか。同じ悩みを保護者の方も抱えている場合があります。保護者の方の子育ての大変さを理解し、一緒に育てていく、という意識を持ちながら、保護者の方と保育所(園)や幼稚園での様子、家庭での小さな変容を具体的に伝え合い、成長の喜びを共有できるようにしましょう。良さをほめて伸ばしていくことが大切です。

# 早期からの支援の充実

## 教育・保健医療・福祉の連携

県では、県内9市町をグランドモデル地区・重点推進地域に指定し、発達障害の早期発見・早期支援に向けた取組を実施してきました。早期発見・早期支援のポイントは教育・保健医療・福祉等の子ども達を支える様々な機関の横の連携。この連携の中で、サポート手帳の普及や、幼児向けの通級指導教室の開設など、保護者の障害受容を支える取り組みも行われています。



### ★保健・医療機関との連携

戸田市では保健・医療との連携の下、5歳児検診との連携を図りながら、就学指導・就学相談の充実を図ってきました。このことをとおし、就学相談との連携が図れ、早期支援が充実してきました。また「とだっ子ファイル」の作成・活用が一貫した支援を繋いでいくという意識を育てています。

本庄市では健康福祉部との協力の下、発達教育支援センターが開設されました。センターとの連携のもと、5歳児相談が始まり、就学指導・就学相談の充実に向けた取り組みがスタートしました。支援ファイル「はぐくみ」の活用がはじまりました。



### ★特別支援学校のセンター的機能の活用

県内に34校設置されている県立特別支援学校は、特別支援教育を支えるネットワークの一員として、地域の障害のある（支援を必要としている）幼児・児童・生徒への教育的支援の中核的な機能を担っています。本庄特別支援学校では保護者への療育・教育に関する相談・情報提供活動の一環として、保護者・子育て支援をねらいの一つとして「親子教室」を月1回開いています。

### ★保育所(園)・幼稚園・小学校の連携

入間市では“子ども未来室事業”のもと、幼児を対象とした通級指導教室を開設しています。幼児期からの個に応じた支援が、就学への繋がり、小1ギャップの解消に効果を表しています。

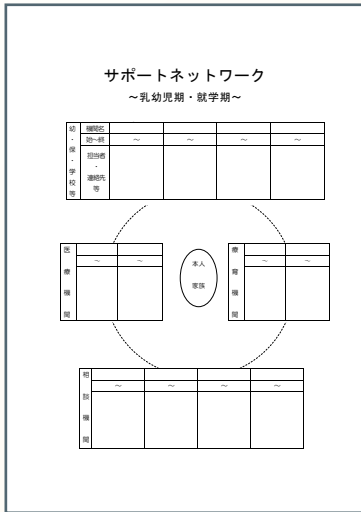


他にも、保健師さんが定期的に管内の保育所(園)・幼稚園を巡回し、気になる子を専門家による巡回支援に繋げるなど、早期支援の動きが広がっています。

# ご存じですかサポート手帳

## サポート手帳とは

埼玉県では、乳幼児期から成人期に至るまで一貫した支援のために「サポート手帳」を作成しています。この「サポート手帳」は、主に発達障害があったり、発達が気になりだったりするお子さんをお持ちの保護者のうち、希望者に配布しております。お住まいの各市町村（さいたま市は除く）で配布しておりますので、詳しくは、市町村の障害福祉担当窓口にお問い合わせください。



## ● サポートネットワークの記入

幼児期・就学期、そして成人期と、成長に応じた支援機関を記入します。

多くのネットワークが温かく見守っていることが確認できます。

## ● 保育所(園)・幼稚園・通園施設の記録

健康状態や情緒面、そして他者とのコミュニケーション等について記入して、小学校への就学と、支援を繋げていきます。

保育園・幼稚園・通園施設等の記録

氏名 (姓、名)、 記入者 (姓、名、姓、名、姓、名)

保護者記入欄	園 (園) に伝えておきたいこと	園 (園) で働かせてほしいこと
園長や園 (園) での様子	園 (園) の養育状況	おきて
園 (園) の健康状態 (発熱、嘔吐、下痢、アレルギー)	園 (園) の健康状態	発達 (言語、身体など)
園 (園) の生活リズム (睡眠、食事)	園 (園) の生活リズム	発達 (社会性、コミュニケーション)
園 (園) の情緒状態 (不安、興奮)	園 (園) の情緒状態	発達 (学習)
園 (園) のコミュニケーション (友達、先生)	園 (園) のコミュニケーション	発達 (生活)
園 (園) のその他 (アレルギー、アレルギー)	園 (園) のその他	発達 (その他)

教育支援プランA (個別の教育支援計画)

氏名 (姓、名)	性別	生年月日	学年
住所 (〒、市、区、町、丁目、番地)	電話番号	連絡先 (親、祖父母、兄弟姉妹)	担当機関
障害種別	障害程度	支援の必要	支援の方向
支援の目標	支援の内容	支援の期間	支援の担当者
支援の開始日	支援の終了日	支援の更新日	支援の更新内容

教育支援プランB (個別の指導計画)

氏名 (姓、名)	性別	生年月日	学年
住所 (〒、市、区、町、丁目、番地)	電話番号	連絡先 (親、祖父母、兄弟姉妹)	担当機関
障害種別	障害程度	支援の必要	支援の方向
支援の目標	支援の内容	支援の期間	支援の担当者
支援の開始日	支援の終了日	支援の更新日	支援の更新内容

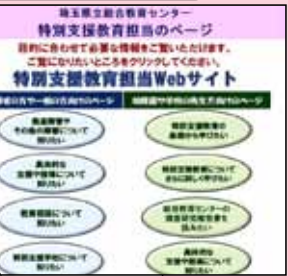
## ● 教育支援プランA・B

教育機関や関係機関での具体的支援内容を記入します。義務教育期からその後の高等教育機関まで具体的な記入をとおり、支援を引き継いでいきます。

# 県内相談機関

子どもの支援に困ったら・・・  
総合教育センターのホームページをご活用ください！

1. 埼玉県立総合教育センターのホームページにアクセス。  
  - ★ <http://www.center.spec.ed.jp/>
  - ★ または「埼玉県立総合教育センター」で検索
2. トップページ画面左側の「特別支援教育」をクリック。



- こんな時に活用できます！
- ▶ 特別支援教育の基礎がわかる研修資料が欲しい。
  - ▶ 個人や学校で研修をしたい（国立特別支援教育総合研究所の講義が視聴できます。）
  - ▶ 特別支援学校について知りたい。
  - ▶ 具体的な支援のアイデアが欲しい。
  - ▶ 教材について知りたい。

特別支援教育について知りたい時・・・  
あちこちのサイトを探さなくても大丈夫！  
▶ 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育情報センターや埼玉県特別支援教育課など、関係機関の資料もこのサイトから探せます。

## 参考となるホームページ

### 《国の機関》

- 文部科学省…………… <http://www.mext.go.jp/>  
 国立特別支援教育研究所・発達障害教育情報センター…………… <http://icedd.nise.go.jp/>  
 国立障害者リハビリテーションセンター・発達障害情報センター…………… <http://www.rehab.go.jp/ddis/>

### 《県の機関》

- 埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課…………… <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/s10/>  
 埼玉県立総合教育センター…………… <http://www.center.spec.ed.jp/>

## 困ったときの相談先

- 住所地の市町村教育委員会
- 住所地の児童福祉を所管している部署
- 住所地を管轄する児童相談所
- 住所地を管轄する保健所・保健センター

### 最寄りの公立特別支援学校

埼玉県立総合教育センター	〒361-0021	埼玉県行田市富士見町 2-24	048-556-4180
埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」	〒350-0813	川越市平塚新田東河原 201-2	049-239-3553
埼玉大学教育学部附属特別支援学校内相談室「しいのみ」	〒331-0823	さいたま市北区日進町 2-480	048-654-0961
埼玉県立小児医療センター【医療機関・予約制】	〒339-8551	さいたま市岩槻区馬込 2100	048-758-1811
埼玉県立精神医療センター【医療機関・予約制】	〒362-0806	伊奈町小室 818-2	048-723-1111
国立知的障害児施設秩父学園発達診療所【医療機関・予約制】	〒359-0004	所沢市北原町 860	04-2992-2859

資料についての問い合わせ先

### 埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1  
 TEL048-830-6888 FAX048-830-4960

埼玉県／教育局特別支援教育課

検索